

(報告事項：理事会承認事項)

## 令和2年度事業報告の件

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大が世界中に広がる中、4月に入ってより1回目の緊急事態宣言が全国に発令され、観光を主な生業とする当地にとりましては、かつてないほどの打撃を受けました。その後、GoToキャンペーンの効果もあり、人の流れを取り戻しつつあった年末から、再び感染拡大が増加...2回目の緊急事態宣言が発令される事態となり、再び苦境に立たされました。

頼みのワクチン接種が医療関係者、高齢者等の順で始まっていますが、7月の東京五輪・パラリンピック開催を前に緊張感は薄らいでおりません。今後の感染推移を注視しつつ、しばらくは各自が感染防止対策を徹底する事しかありません。

さて、そんな中、総会、会議等、中止とせざるを得ない状況ではありましたが、従来のイベント等につきましては、感染防止対策に気を配り、規模縮小ながら前向きに開催をさせて頂きました。

まだ、先が見えない状況に変わりありませんが、「良き経営者の団体」「税のオピニオンリーダー」としての法人会本来の活動に加え、社会貢献活動にも力を入れ、「会員から共感を、社会と共生を」の宣言書に則った活動を展開して参ります。

### (1) 体制及び財務基盤の確立

総務委員会では、一般社団法人としての会基盤確保を目的とし、財政基盤の確立と円滑な会運営を図って参りましたが、尚、今後一層の会運営の安定を図るべく、支部、部会、委員会などの各組織機関との意見調整を行ないながら、更なる基盤確保に努め、運営面全般において提言を行ないました。

また、福利厚生制度推進と会員拡大の会基盤の中核を支える組織厚生委員会では、昨年に引き続き、キャンペーン期間を設ける中、福利厚生制度の各受託会社の協力を得て、相乗効果による各推進活動の活性化を促し、会員拡大に関しては、支部を中心に加入推進活動を展開しましたが、今年は、コロナの影響で営業推進活動が思うようにいかず、福利厚生制度推進、会員拡大共に苦戦を強いられました。

※会員増減内訳：期首会員数 703社 十 期中加入社数 5社 ー 期中脱会社数 12社  
＝ 期末会員数 696社

### (2) 事業

当法人会の基本方針にのっとり、本年も健全な納税者団体として、税務行政の円滑な運営に協力すると共に、会員の税務知識の普及と経営資質の向上を図るため、税制委員会、研修委員会を主管として次の事業を実施しました。

第45回伊豆下田税務大学

第18回伊豆下田元気塾（一般公開）

等

### (3) 教育、情報に関する事項

本年も広報委員会を中心として、当会独自の会報「YU-ME」を発刊。会の活動内容について、会員への広報は基より、関係機関へのPRに大いに役立ちました。

今年も引き続き、「伊豆の人々」をテーマとし、一般の方々にも広く読んでいただける事を前提として、増刷の上、フリーペーパーとして関係各所に置いて頂きました。

又、本年も、社会貢献事業の一環として、親子TAXハイキング「税キング22」を開催。今年も、コロナの関係もあり、感染防止対策を講じた企画に変更し、参加者も例年500名のところ300名まで規模縮小致しました。今回は、新聞広告などの募集は一切行いませんでしたが、口コミで300名の参加者がすぐに集まり、税キングが、地域の皆様から愛されるイベントとして定着している事を感じられました。

また、法人会ホームページやフェイスブックを通じ、会員間の情報の共有化に努めました。特にフェイスブックにおいては、4月の緊急事態宣言時の最初の投稿が10万人を超える閲覧があった事から、「コロナに負けるな！掲示板」を開設、その後、掲示板の名称は変わるものの、新聞記事の関連コラムを毎日更新。年度当初500人に満たなかったフォロワーの数が、現在では1,300人を超えるまでに増えており、活動自粛の反面、大きく発信力を伸ばすことが出来ました。今後も継続して参ります。

また、FAXを活用し、毎月「法人会ニュース」も送信。会員とのコミュニケーションを図りながら、有益と思われる参考図書の斡旋なども行ないました。

#### ◎参考図書の斡旋状況

「新型コロナ緊急経済対策ガイドブック」(会員価格300円提供)

「令和2年度版 会社がもらえる助成金活用のポイント」(会員価格200円提供)

「令和2年分からの新しい年末調整実務」(会員価格200円提供)

#### (4) 会員相互の親睦に関する事項

会活動を活発にし、役員並びに会員の意識の高揚と責任観念の強化並びに異業種交流の円滑な推進を図るため、懇談の場を設けて実施していたが、今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を考慮し、感染防止対策を講じた上、最低限の開催に留めた。

#### (5) 部会の育成に関する事項

50歳未満の経営者を中心とする青年部会、女性経営者、女性役員を中心とした女性部会の活動を、部会の自主性により、各種研修事業、税の啓蒙活動などを展開しました。

青年部会は、5月開催の総会についてはコロナの感染状況を考慮し中止。下田高校、松崎高校の就職希望の3年生を対象とした模擬面接会、税を通じて社会を考える会は、学校側の希望もあり実施しました。今年度は、コロナ感染拡大を一つのテーマとし「助け合える社会」について考えてもらいました。9月には、高校1年生を対象とした「社会人講話」についても、昨年同様に各分野から講師を派遣し、進路決定における参考にして頂きました。

11月には、昨年から開催している「青年部会情報交流会」を開催。前段で、地域活性化セミナーとして、地元ユーチューバーのつつけんさん、東伊豆町の地域おこし協力隊員の高瀬真由さんの話を伺った後、様々なテーマでテーブルディスカッションを行い、交流を持ちました。予定していた視察研修については、コロナの関係で残念ながら中止せざるを得ませんでした。

女性部会は、やはり5月の総会は中止せざるを得ませんでした。また、夏休みに企画していた「親子税金探検隊」も同様に中止。何とか事業を…という思いもあって、体験型研修会として「南伊豆を知る会」を企画。バス1台に20名限定企画で募集し、10月に、新施設としてオープンした波勝崎モンキー・ベイ、石廊崎オーシャンパークを見学。地元でもなかなか行く機会がない…との事で、皆さんに喜んで頂きました。

「税に関する絵はがきコンクール」については、昨年に引き続き、役員を中心とした学校関係への働きかけをしました。コロナで学習計画の遅れなどがある事から、今年は応募の数が減るのでは…という心配がありましたが、ちょうど500枚の作品の応募がありました。佳作を含め、去年より多い70作品を表彰。各学校へも訪問、表彰式を開催し、各学校の先生方、子供達にも大変喜んで頂きました。作品は、確定申告会場等にも展示され、優秀作品カレンダーも配布致しました。

また、予定していた新春演奏会が中止になった事により、本年度のイベントが少なくなった事もあったので、そのような報告を兼ね、地元の高齢者の方々が製作した手作りマスクを全部会員に配布したところ、大変喜んで頂きました。

期末青年部会員数 67名 期末女性部会員数 133名

会議及び事業については次のとおり

1、会 議

種目、開催日	会 議 名	開催地	主な議題	備考
(1) 通常総会 2、 5、 21	第8回通常総会 ※本年度は書面決議にて 正副会長にて審議	下田市	1. 令和元年度報告・決算 2. 令和2年度事業計画、予算	委任状出席 445名
(2) 理事会 2、 5、 21	第96回理事会 ※委任状により正副一任	下田市	1. 事業計画・予算(案)	委任状25名
10、 7	第97回理事会	下田市	1. 委員会、部会報告他	合同役員会
3、 3、 26	第98回理事会	下田市	1. 総会各議案審議	
(3) 正副会長会 2、 5、 21	正副会長会議(総会兼)	下田市	1. 総会議案審議	
3、 1、 21	正副会長会議	下田市	1. 役員改選等審議	
(4) 監事会 2、 4、 30	監事会(会計監査)	下田市	1. 会計監査	
(5) 委員会 1、総務委員会 2、10、 7	第113回総務委員会	下田市	1. 委員会、部会報告他	合同役員会
3、 3、 11	第114回総務委員会	下田市	1. 通常総会開催他	
2、研修委員会 2、10、 7	第180回研修委員会	下田市	1. 委員会、部会報告他	合同役員会
3、 3、 4	第181回研修委員会	下田市	1. 伊豆下田元気塾他	
3、税制委員会 2、 9、 15	第173回税制委員会	下田市	1. 税務大学開催について	
10、 7	第174回税制委員会	下田市	1. 委員会、部会報告	合同役員会
11、 5	第175回税制委員会	下田市	1. 税務大学開催について	
4、広報委員会 2、 7、 27	第120回広報委員会	下田市	1. 税キング22について	
10、 7	第121回広報委員会	下田市	1. 委員会、部会報告他	合同役員会
10、 20	第122回広報委員会	下田市	1. 税キング21について	
5、組織厚生委員会 2、 10、 7	第38回組織厚生委員	下田市	1. 委員会、部会報告	合同役員会
(6) 部 会 1、青年部会 2、 7、 15	令和2年度通常総会 ※本年度は書面決議 第111回理事会	下田市	1. 令和元年度報告・決算 1. 令和2年度事業計画、予算 1. 模擬面接、租税教育	
9、 17	正副支部長会	下田市	1. 情報交換交流会他	
3、 3、 23	正副支部長会	下田市	1. 通常総会開催他	

種目、開催日	会 議 名	開催地	主な議題	備考
2、女性部会	令和2年度通常総会 ※本年度は書面決議		1. 令和元年度報告・決算	
2、 7、 8	正副支部長会	下田市	1. 令和2年度事業計画、予算	
9、 2 4	第107回理事会	下田市	1. 絵はがき募集他	
10、 10	正副支部長会	下田市	1. 体験型研修会他	
3、 3、 2 4	正副支部長会	下田市	1. 絵はがき審査他 1. 次年度計画・改選他	
(7) その他会議				
1、税連協事務会議				
2、 4、 1 4	第61回税連協事務会議	下田市	1. 事務担当意見交換	
9、 2 8	第62回税連協事務会議	下田市	1. 事務担当意見交換	
2、税務連絡協議会				
3、 1、 1 5	第124回税務連絡協議会	下田市	1. 各団体现況報告	

全法連、東法連、県法連			
種目、開催日	会 議 名	開催地	出席人員
2、4月～6月	※基本的にコロナ対応により書面決議又は中止		
7、 10	専務理事等会議	静岡市	1名出席
7、 15	県法連組織委員会	静岡市	1名出席
7、 17	県法連女性部会連絡協議会正副会長会	静岡市	1名出席
7、 22	県法連青年部会連絡協議会常任理事会	静岡市	1名出席
9、 2	厚生委員会並びに福利厚生制度推進委員会	静岡市	2名出席
9、 10	法人会女性フォーラム静岡大会広報小委員会	静岡市	1名出席
10、 2	県法連女性部会連絡協議会第30回情報交換会	静岡市	4名出席
10、 16	専務理事等会議	静岡市	1名出席
10、 28	県法連青年部会連絡協議会第30回情報交換会	静岡市	3名出席
2、 12、 9	県法連女性部会連絡協議会正副会長会	静岡市	1名出席
3、 1、 15	専務理事等会議	静岡市	1名出席
2、 4	県法連組織委員会	静岡市	1名出席
2、 19	厚生委員会並びに福利厚生制度推進委員会	静岡市	1名出席
2、 25	県法連広報委員会	静岡市	1名出席
3、 16	県法連総務委員会	静岡市	欠席
3、 22	県法連理事会	静岡市	2名出席
	※その他、静岡県連の「運営研究会」、東法連の各総会、大会、全法連主催の「全国大会」「青年の集い」などは中止となりました。		

2、事業

種目、開催日	事業名	開催地	内容、講師	参加人員
(1) 本部 2、11、17	第45回 伊豆下田税務大学	下田市	<b>第1講座(税務講話)</b> 「税について考える」 名古屋国税局課税第二部 法人課税課長 河之口幹夫 氏 <b>第2講座(コロナと税)</b> 「税金クイズで学ぶ～コロナ 対策による税制上の措置」 出題：下田税務署 解説：東海税理士会下田支部 税理士 佐藤雅英 氏 <b>第3講座(記念講演)</b> 「賀茂地区におけるコロナ ウイルス感染症の動向」 静岡県賀茂保健所 所長 本間善之 氏	50名
※税務大学の 開校式中にて	県法連会長表彰状 伝達式	下田市	被表彰法人(法人表彰) (株)永谷、日之出商事(株)、 (有)米澤電設、(株)丸山園、 (有)伊豆式典	5社
11、15	税を考える週間行事 親子TAXハイキング 「税キング22」	東伊豆町	「伊豆アニマルキングダム」 を会場に、家族単位で、動物 問題、税金問題、などを解い てもらい、表彰を行なった。	300名
11、19	スマホ・パソコン利用 による簡単申告説明会 ※伊豆下田納税貯蓄 組合と共催	下田市	マイナンバーカードの取得 方法及びスマホ、パソコン を利用した申告手順につい て下田税務署より説明。	60名
3、2、4	スマホ等簡単申告会	下田市	スマホ等による申告作業に ついて実際の申告までを サポートする形で開催。	8名
3、18	第18回 伊豆下田元気塾	下田市	「コロナ禍の今だからこそ 考えよう！」 伊豆の山と海の値打ち」 「山の部」講師 (株)Base Tres 代表 松本潤一郎 氏 「海の部」講師 海の手配師 石垣幸二 氏 ※講演&トークセッション	150名

種目、開催日	事業名	開催地	内容、講師	参加人員
(2) 青年部会 2、8、11	就職希望の高校3年生を対象とした模擬面接及び「税を通じて社会を考える会」	松崎町	松崎高校就職希望の生徒に対し、青年部会メンバーが面接官となり模擬面接を実施。昼食、懇談の後、「税を通じて社会を考える会」を開催した。	36名
8、24	就職希望の高校3年生を対象とした模擬面接及び「税を通じて社会を考える会」	下田市	下田高校就職希望の生徒に対し、青年部会メンバーが面接官となり模擬面接を実施。昼食、懇談の後、「税を通じて社会を考える会」を開催した。	全日10名 分校17名
9、11	高校1年生を対象とした「社会人講話」に講師派遣	下田市	下田高校1年生を対象として進路決定の参考にと開催される「社会人講話」に観光業、料理人、薬剤師、IT関係などの分野より講師を派遣。	—
11、7	東伊豆支部青年部会 「税金クイズ大会」 (初企画)	東伊豆町	コロナ禍で外出する機会が少なくなった子供達のために、小学生を対象とした「税金クイズ大会」が稲取において開催されました。	—
11、15	親子TAXハイキング 「税キング22」協力	東伊豆町	※本部共催事業 (詳細は社会貢献事業参照)	—
11、26	青年部会 情報交換交流会	河津町	第一部「地域活性化セミナー」 河津町観光PR大使、 ユーチューバー つつけん氏 東伊豆町地域おこし協力隊員 高瀬真由氏 第二部「情報交換交流会」 ※各テーブルのテーマに従ってディスカッション。	35名

種目、開催日	事業名	開催地	内容、講師	参加人員
(3) 女性部会 2、10、22	体験型研修会 「南伊豆を知る会」	南伊豆町	バス1台に20名定員。 波勝崎モンキー・ベイ、 石廊崎オーシャンパーク見学 「伊豆の味おかだ」で昼食	20名
3、1月中旬	手作りマスク(2枚) を部会員に配布	—	予定事業が中止となった事 もあり、高齢者の皆さんが 運営する、松崎町「蔵ら」に 部会員1名につき2枚を発 注(約250枚)して、 郵送にて配布しました。	—
2、10～3、1 応募 3、2月中旬 ～3月上旬 表彰	税に関する絵はがき コンクールの募集 及び審査、表彰	—	全法連主催の「税に関する絵 はがきコンクール」の応募に 協力を行った。 今年にはコロナ禍にもかかわ らず500作品を集める事 ができ、下田税務署長表彰、 優秀賞、佳作などを含め 70作品を表彰。 優秀作品はカレンダーにし て配布を行った。 作品は、確定申告会場及び 下田東急ストアにおいて 一定期間、展示した。  ◎各地区表彰日程 2月15日 熱川小学校 2月16日 河津西小学校 2月17日 南伊豆東小学校 2月18日 稲取小学校 2月19日 下田小学校 2月25日 稲生沢小学校 3月3日 南中小学校	—

### 3、広 報（本部）

発行日	会 報 名
3、 1、 3 1	法人会報（「YU-ME」）第60号 「コロナに負けるな！伊豆を生きる人」特集 ※フリーペーパーとして活用すべく増刷。

### 4、会員情報交流事業（本部）

会報配布、事業開催時に、会員企業の広告、チラシなどを同封し、会員間の情報交流を促し、又、法人会ホームページ、フェイスブックにおいても、積極的に会員企業の情報発信も試みた。

また、昨年4月に新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が発令された事により「コロナに負けるな！掲示板」を設置。初回のアクセスが10万人を超えたことから、毎日更新の形でコラムを掲載。1年でフォロワーが1,300人を超えるなど倍増し、発信力が飛躍的に向上した。

### 5、支 部

各支部とも経営、税務を両輪とし、地域の特性を活かした事業活動を展開、更に会員相互の親睦にも力を入れた事業を実施した。